※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）実用書	単位数	２単位	年次	１～４年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文字の構築性を理解し、バランスのよい文字の書き方を学習する。実用例をあげ、場面に即応した用語を学習します。

２　学習の到達目標

・文字の構築性を理解し、バランスのよい文字の書く技能を身につける。
・実用例をあげ、場面に即応した用語を選択し、書けるようにする力を養う。
・美しく正しく文字が書けるようになることに対して強い意欲を持ち、主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文字の構築性を理解し、バランスのよい文字の書き方ができる。	実用例をあげ、場面に即応した用語を選択し、書けるようになる。	美しく正しく文字が書けるようになることに対して強い意欲を持てるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動　※前期（４月～８月）・後期（１０月～２月）それぞれで１単位のみの履修も可である。

月	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4～8月	楷書の基本	①オリエンテーション ②横画、縦画、払い、折れなど、基本的な点画に分類した文字の学習 ③正しい筆順を理解する。 ④強調画を見出し、整った形を目指す	a:点画が正しく明瞭である。 b:場面に応じた基本的な点画を選択し、書くことができる。 c:美しく正しく文字が書けるよう、強い意欲を持って取り組んでいる。	提出物 観察	提出物 観察	提出物 観察

※令和４年度以降入学生用

	行書の基本 楷、行の比較	①横画、縦画、払い、折れなど、基本的な点画に分類した文字の学習。 ②点画の連続、省略や、字形、筆順の変化などを理解する。 ③部首分類による楷書、行書の書き分け。	a:点画の連続や省略、字形や筆順の変化を正しく理解している。 a:横画、縦画、払い、折れ等を正しく書くことができる。 a:気脈、筆脈の貫通が正しく理解できている。 b:場面に応じた基本的な点画を選択し、書くことができる。 b:部首分類によって楷書と行書を正しく書き分けることができる。 c:美しく正しく文字が書けるよう、強い意欲を持って取り組んでいる。	提出物 観察	提出物 観察	提出物 観察
10月～2月	仮名の基本 縦書き、横書きの学習	①片仮名、平仮名の単体の学習。 ②平仮名の連綿の学習。 ③一行から複数行の縦書きの学習 ④一行から複数行の横書きの学習 ⑤葉書、封書、便箋の用例の学習⑥原稿用紙、履歴書の書き方の学習	a:　字母を理解し、正しく書けている。 b:　行全体のバランス、行頭行脚の統一ができている。 c:　美しく正しく文字が書けるよう、強い意欲を持って取り組んでいる。	提出物 観察	提出物 観察	提出物 観察
	手紙文の書き方 別教材（プリント配布）、筆ペンによる学習	Ⅰ葉書の書き方の学習 ①年賀状を想定した用語例の学習 Ⅱ慶弔用語の学習 ①熨斗袋の種類とその用法を理解する。 ②慶弔用語の種類とその用法を理解する。 ③語句の楷・行書による学習。 （本来は小筆使用による細字学習であるが、利用教室の制限により筆ペンを使用）	a:毛筆による線の痩肥が理解できている。 a:点画が正しく明瞭で、筆脈が正しく理解できている。 b:実用例を題材に、場面に即応した用語を選択し、正しく明瞭に書くことができる。 c:美しく正しく文字が書けるよう、強い意欲を持って取り組んでいる。	提出物 観察	提出物 観察	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度